



WINART

The Magazine for Wine Lovers

ルネ・ミューレ

René Muré



12代目のヴェロニク・ミューレ。醸造は弟のトマとロワール出身のアンヌ・ファルパンが行なう。

...

ミューレ家は、「1870年にドイツ領となり急激に白ワイン化が進められても、周囲のプレッシャーに負けずピノ・ノワールを造り続け」、グラン・クリュを名乗れなくともピノ・ノワールにとって最高の畑でワインを造り、それを白ワイン産地のアルザスでフラッグシップに掲げる、筋金入りのピノ・ノワール生産者だ。

最高の畑とはグラン・クリュ・フォルブルクと、その一角にあるモノポールのクロ・サン・ランドラン。とくに後者は真南にばーんと開いたテラス状の、石灰岩がゴロゴロ転がる石灰質粘土土壌という、ピノ・ノワールのためにあるような場所。2000年代前半まではパワフルなスタイルだったが、最近では新樽率を下げ、「一部を全房発酵することでフレッシュ

なアロマとシルキーなタンニンを得た」、よりフィネスのあるワインになった。グラン・クリュ・ピノ・ノワール第1号候補と前評判が高いのもうなずける偉大なワインだ。



...

クロ・サン・ランドランの畑。01年からビオダイナミ。ピノ・ノワールはほかにコート・ド・ルーファック・ルージュと、グラン・クリュ・フォルブルグの「V」。